

3つのコンセプト

「豊かな暮らしの創造」

- どのようなまちづくりを目指し、施設はどう寄与していくか
- まちの価値や市民の生活をどう高めていくか

「市民参画・『市民が集う場』づくり」

- 一年を通じて市民が集う場所
- 多様な活動を念頭に置いた汎用性の高さ
- 企画・運営への市民の関わり

「持続的に運営可能な施設」

- 子ども達の世代でも無理なく運営できる施設
- 公民連携

3つの機能

「市民ホール、会議室等」

- 市民の活動の場づくり
- 公共的なスペースの再編、共有化等

「図書館、歴史・文化」

- 新しい時代に求められた市民の利用頻度の高い空間づくり
- 歴史や文化の保存、継承、発信。学びの場の提供等

「民間機能」

- 市民の利便性の向上
- まちの構造的課題の解消、収入確保等

図書館建物概要

所在:熱海市上宿町 14-20(東京電力(株)熱海事務所建物内)  
構造:6階建てのうち建物地上 3~6階部分

建物延床面積 377,937m<sup>2</sup>

図書館床面積 2,535.16m<sup>2</sup>

5F(児童室、会議室、学習室、和室、閉架書庫等)

4F(事務室、一般閲覧室、郷土資料・新聞雑誌閲覧・展示・AVコーナー)

3F(一般閲覧室、一般書架、市史編さん室、閉架書庫等)

図書館運営経費

H24年度:総額 1億 1,475万円

うち人件費 5,795万円(約 50%)

賃借料 2,737万円(約 23%)

年度	図書館(本館)			移動図書館		
	開館 日数	登録 者数	貸出 冊数	開館 日数	登録 者数	貸出 冊数
H23	293	11,870	128,592	115	1,104	13,794
H24	294	12,751	121,591	131	1,191	16,661
H25	286	13,430	105,693	159	1,268	20,433

■ 主な課題

- フロアが3層になっているため、セキュリティや人員配置等に問題がある。
- 郷土資料等、貴重な資料を保存する空調等の設備の整った書庫を確保できない。
- 駐車スペースが少ない。
- 防音に配慮した設計ではないため、足音や話し声等、「音」に関する苦情が寄せられている。
- 開館日の増大や開館時間の延長の要望がある。
- 専門職員の不足
- 市制 80 周年に向け温泉誌策定中

■ 3つのコンセプト・機能の視点から、市民が集い、交流し、情報・人・コミュニティが繋がる場となるために必要な機能とは

- 新たな図書館に求めるもの、必要なものとは
- 利用者を増やすには
- 人と人が繋がるにはどのような図書館が必要か
- 子ども向けの機能は
- 情報発信するための機能は
- 郷土資料・文化・文学等保存継承していくためには
- 情報発信していくためには
- (仮称)熱海フォーラム全体として「集う場」に必要な機能は

◀ これらの機能を踏まえ、どのような施設整備や管理運営をするべきか ▶